

校長室だより

6年生日光移動教室速報(その2)

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成27年6月15日 NO.8

戦場ヶ原では、耳を澄まして自然の営みを感じたり、ゆるやかな湯川に笹舟を浮かべたり、スケッチポイントでは3分間のお絵かきタイムなどを楽しみました。湯滝から泉門池までは、ウラジロモミやコメツガの針葉樹やミズナラやカエデ類の広葉樹が織りなす針広混合林の中を歩き、たつぷりのフィトンチッドで森林浴を堪能しました。戦場ヶ原の後半は、広々と開けた草原で男体山や日光連山の景観を存分に楽しむことができました。これほど見事に晴れ渡った戦場ヶ原は、あまり経験がありません。10年に1度あるかないかでは？高原を渡る初夏の風にワタスゲが優しく揺れ、様々なビューポイントを眺め楽しみながら、赤沼へと到着しました。

三本松で昼食、光徳牧場にて濃厚なアイスクリームを味わい、竜頭の滝・菖蒲ヶ浜へと行き、その後、遊覧船で中禅寺湖を渡り、宿舎へと帰りました。なお、明日朝の天気予報が今一なので、時間もあり湯元源泉にて10円玉を使い化学実験を開始しました。 Cu (銅) + S (硫黄) $\rightarrow CuS$ (硫化銅) の化学式で黒く変色し、その後ただひたすら磨けば、きれいな10円玉に変身するそうですが、酸の作用なのか、はっきりとその理由が分からずに現在究明中であります。

お風呂・お土産買い・夕食と終わり、ナイトハイクも行いました。とても恐い久保田先生の先生で途中から参加できなかつた子もいたそうです。男女ペアで行くこと、手を放したらスタートに戻るという約束もあり、みんなしっかりとお手々つないだ状態でスリラー感満載のハイクへ出発。「うわあー恐い!」「助けて!お願いします!」という子もいれば、「大丈夫!平気平気!」「男でしょ!しっかりして!」と言う子もいたようです。その後、二日目はみんなくたびれ、すっかりぐっすりとおねんねタイム・・・おやすみなさい。

3日目は、あわてず騒がずゆったりと朝食・帰りの仕度・お掃除タイムなどで時間を過ごしました。閉校式終了後、ホテルの方々に見送られて、湯元・中善寺の町より日光市目指し一気に900mの大下降。いろは坂では、子ども達の「ヒューッ!」「ウワオー!」の声の連発。かわいい子ジカも国立七小の子供達にお別れの挨拶のために登場してくれ、子供達も大喜び。下界に下りてからは、日光彫りの体験しました。伝統技術の伝授で、世界唯一「マイ日光彫り」にチャレンジ。またまた一つステキな思い出を多く作ることができたようです。その後、駅より電車に乗り日光を後に。

「楽しく・仲良く・元気よく!」というめあてを守り、無事故・笑顔で帰ることができた6年生はとても立派であると思います。この3日間で学んだことを今後の学校生活でも大いに生かし、これからもさらに、国立七小のリーダーとして大きく成長してくることを心より願っています。

